

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	若松町1丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物 新築工事	階数	地上33F/地下1F
建設地	横須賀市若松町一丁目100番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,582 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,ホテル,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年12月 予定	評価の実施日	2025年11月3日
敷地面積	3,446 m ²	作成者	株式会社アール・アイ・エー東京本社
建築面積	3,010 m ²	確認日	2025年11月3日
延床面積	45,755 m ²	確認者	株式会社アール・アイ・エー東京本社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 77%
③上記+②以外のオンサイト手法: 77%
④上記+オフサイト手法: 77%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
本建築物は、主用途を商業施設、ホテル、集合住宅とする複合用途建築である。駅と直結しているペデストリアンデッキと接続し、敷地内に歩道状空気を整備した。活力と潤いのある良好な環境を計画している。	
Q1 室内環境 各用途に必要な換気量を満足する換気計画とし、飲食店舗については調理臭気対策として局所排気を強化し、住宅・ホテル用途への影響を抑制している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の屋上部に緑化を計画し、居住環境の質の向上に配慮している。
LR1 エネルギー 施設全体として、一次エネルギー消費量の削減に寄与する計画としている	LR3 敷地外環境 屋上緑化等により、建物からの顕熱放出を低減し、都市部の地域環境への負荷低減に配慮している。
Q2 サービス性能 商業施設、ホテル、集合住宅の各用途について動線を明確に分離し、利用者の交錯を抑制した計画としている。	
LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用により、日常使用における水資源消費量の削減を図っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される